

私立大学における教職課程質保証の在り方に関する基礎的研究

調査の概要

◆課題認識

教職課程の質保証評価の必要性は広く理解されるようになってきたが、設置数も膨大であり、適した原理を明らかにし、評価方法の確立が求められる。

◆調査研究の目的

教職課程の設置形態は、大学の目的から多様であり、いわゆる開放制の教員養成を行う教職課程における質保証評価の在り方を明らかにする。

◆調査研究の方法

- ・全私教協に加盟する私立大学教職課程を対象とする。
- ・私立大学における教職課程質保証評価に関する全体的な課題を明らかにする基礎的研究を行う。

◆調査研究校

本協会加盟420校を対象とする。

◆現状

- ・本協会は全国8地区の地区協議会加盟の私立大学・短期大学から構成されている。
- ・教職課程の質的向上に取り組んできたが、組織的な質保証評価を行い、認証する活動には未着手である。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・私立大学に適した評価の目的・方法の明確化

②ポイントB

- ・評価組織の在り方に関する試案と、検討の基礎資料の作成

③ポイントC

- ・評価指標・項目に関する開放制私立大学教職課程を的確に評価する試案の作成

④ポイントD

- ・私立大学の規模に応じた質保証評価に関する費用、人員について、受審しやすい試案の作成

⑤ポイントE

- ・私立大学各校の質保証評価に関する意識調査を行い、研究取組の基礎データを作成

◆成果

- ・私立大学において可能な教職課程質保証の検討課題を、加盟校に対する意識調査から明らかにした。
- ・評価組織・指標、調査人員、費用に関する試案（第一次）を作成し、今後の具体化の基盤を構築した。

現行の評価組織、評価方法・指標、評価に関する経費についてレビュー

教職課程質保証評価への意向調査の検討

会員校 420校

「私立大学における教職課程質保証評価の在り方に関する調査」の実施

調査結果集計、分析、取りまとめ

評価組織・指標、調査人員、費用に関する試案(第1次案)の作成

今後の課題

- ・試案に関する加盟校の見方、考え方を集約して、評価実施案を作成する。
- ・試行評価を行い、質保証評価の実施に向けた環境整備を行う。